

学校運営協議会（ 第3回 ）議事録

校名	府立大阪北視覚支援学校
校長名	太田 淳一郎

開催日時	令和7年2月19日（水） 9：30 ～11：10
開催場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階
出席者(委員)	山本利和、猪俣則広、佐々木一男、亀甲孝一
出席者(学校)	太田校長、人見教頭、岡田教頭、眞野事務長、小倉首席、熊谷首席、滝口首席
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 令和7年度 学校経営計画及び学校評価 令和6年度 学校教育自己診断結果
備考	

議題等(次第順)	
1	挨拶
2	学校運営協議会委員の確認
3	協議案件・報告
	(1) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価について
	(2) 学校教育自己診断 分析結果について
	(3) 意見書について
	(4) その他
4	その他
5	挨拶
6	連絡
協議内容・承認事項等（意見の概要）	
1	労働人口が減っていく中で、10年後・20年後の視覚支援学校についても併せて考えていきたい。
2	各委員から挨拶。
3	(1) 学校経営計画及び学校評価に関連して、教員が視覚障がい教育に関する内容を自由に相談できる「相談サロン」や、「視覚障がい理解講座」について、校内・視覚障がい教育の関係者だけでなく、地域や一般の方にも情報を発信し、学校の活動を広く知ってもらうことも必要である。 令和7年度の学校経営計画について、多くの課題を取り入れることも重要であるが、力が分散してしまい、この学校で一番大事なところを取り上げて、それをやっていくようにした方が良いという意見が出た。
	(2) 学校教育自己診断の回収率が、児童生徒30%、保護者45%と低いのが気になる。 「1人1台端末」を活用して特別活動の時間などを利用して回答することや質問内容を変更するなどしてあげるよう努めてほしい。 また、「授業を受けて、もっと勉強したいと思う」や「命の大切さや社会のルールについて教えてくれる」の否定的評価が大きくなっていることについて、授業改善をさらに進め、子どもたちが授業に興味を持てるような授業を考えてほしい。
	(3) 第2回実施以降、意見書の提出はなかった。
4	その他は特になし。
5	校長が中心に置きたいことは何かという質問に対し、「視覚障がい教育の専門性の維持・継承に取り組みつつ、“センター”を作り、地域支援・訪問支援などを進め、通級ができる場」「1つの研究機関として、地域の小中学校の先生が視覚障がい教育を学ぶ研究機関としての役割を担う場にしたい」という考えを説明した。
6	今年度の運営についての謝意
次回の会議日程	
日時	令和7年6月頃を予定
会場	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階